

**令和6年度**  
**「市民と議会の意見交換会」**  
**開催結果**

1	開催概要	1
2	意見交換会の主な内容（要約）	
	● 松葉コミュニティセンター	2
	● 城ノ内コミュニティセンター	4
	● 川原代コミュニティセンター	6
	● 龍ヶ崎西コミュニティセンター	8
3	アンケート結果	
	● 松葉コミュニティセンター	11
	● 城ノ内コミュニティセンター	17
	● 川原代コミュニティセンター	22
	● 龍ヶ崎西コミュニティセンター	28
4	ご意見等の取扱いと開催結果の報告について	35

# 1 開催概要

## (1) 会場・日時・参加者数

会場	日時	参加者数
松葉コミュニティセンター	令和6年11月16日(土)	22名
城ノ内コミュニティセンター	10:30～12:00	12名
川原代コミュニティセンター	令和6年11月16日(土)	14名
龍ヶ崎西コミュニティセンター	14:30～16:00	23名

## (2) 議会出席者

会場	議員(議席番号順)
松葉コミュニティセンター 川原代コミュニティセンター	伊藤、藤木、櫻井、石嶋、久米原、山宮、山村、 加藤、山崎、油原、寺田 【11名】
城ノ内コミュニティセンター 龍ヶ崎西コミュニティセンター	金剛寺、大野(み)、札野、岡部、後藤(光)、 椎塚、大竹、後藤(敦)、杉野、鴻巣、大野(誠) 【11名】

## (3) 次第

- 1 議長/副議長挨拶
- 2 出席議員紹介
- 3 議会報告

〔テーマ〕子育て支援と人口減少問題について

- 4 意見交換会



松葉コミュニティセンター

城ノ内コミュニティセンター



川原代コミュニティセンター

龍ヶ崎西コミュニティセンター



## 2 意見交換会の主な内容（要約）

### ●松葉コミュニティセンター

No.	発言内容
1	<p>人口の自然減と社会減のバランスを聞きたい。20～40代の出生、子どもを産むであろう世代の方々の転出とか転入。</p> <p>龍ヶ崎で生まれた方が、その後とどまって、仕事を持って、結婚して子育てをしているか。</p>
2	<p>大学卒業者が市外に出てって就職して戻ってこない。近くにいい就職先がないから。市役所はニュータウンの人を採用したことはあるのか。</p> <p>就職先がないと誰も戻ってこない。</p> <p>市としては、産業誘致・商業誘致をしないと人口は持たないと思う。</p> <p>なぜ給食を無料にして、例えば児童館を建てたりしないのか。給食費が無償のところと有料のところがある。国家公務員大卒レベルよりも龍ヶ崎市役所の大卒レベルの方が（初任給で）6,200円高い。そういう財源を、そういうことに使っていけばいいんじゃないか。</p> <p>議員の給与を上げるという話を聞いている。無償化自体をやる前に、議員から給与を上げるのはもってのほかでは。</p>
3	<p>りゅうほー10月号に市の決算が出ていて、一般会計予算で28億のお金が余ったという極めて健全な会計状態にあるのに、2億6,000万の小・中学校の給食費が無償化できないのか極めて疑問。</p> <p>人口減少化社会では自治体間の競争、人を取り合ってる状況。</p> <p>松葉1丁目では空き家が34戸ある。子どもたちがやってくるかどうか考えたときに、給食費無償化された所が選ばれる。東京都は給食費無償化は当たり前、高校の授業料も無償化。人を呼び込む空家がある。</p>
4	<p>子育て世代に龍ヶ崎市の認知がされていないところが非常に大きい。</p> <p>都内の会社に勤めており、みんなが家を買おうとなったとき、まず埼玉が考えられ、次点でつくばとか守谷は出てくる。「龍ヶ崎市は私が住んでいて、いいところなんだよ」と言うと「すごく遠いでしょう」と言われる。</p> <p>良いところなので、知っていただくというところをやって欲しいなと思っている。</p> <p>育児の支援の所得制限撤廃みたいなところは、ぜひ検討いただきたい。</p>
5	<p>龍ヶ崎の合計特殊出生率は0.98で低いとのことだが、国や県はどのくらいなのか。</p>
6	<p>議会からの3番目の提案、いいなと思った。子どものための会館というか、遊び場だけでなく自然体験とかコンピューターとかを入れて教育していくと良いので、ぜひ取り組んでいただきたい。</p> <p>人口減少問題というのは、市は企業誘致してるのかどうか。熊本の工場に行く機会があったが、非常に環境が整ってて、すごく活気があった。</p> <p>龍ヶ崎は成田や筑波研究都市が近く東京にも近い。飛行場がある。私はここを第2の研究都市みたいな形で城南中学校を研究所にするよう提言した。</p>
7	<p>人口減少を止めるには、若い夫婦をいかにこの市に呼び込むかに尽きると思う。家が圧倒的に安いということをアピールしていかなきゃ駄目。東京に住むよりは遥かに良いと。東京だって50分ぐらいで行けるわけだから。</p>

8	<p>出生率が0.98 っていうことは、産まない選択をしてる方が大勢おられると思う。本日の資料では、すでに子どもがいる方にアンケートをとって対策をとっているの、出産しない前提で子どもを持たないという選択をした方、結婚しないという選択をしている方への聞き取りがないのではと思った。</p> <p>稲敷市出身で、こっちに越してきたが、稲敷では今、婚活を市で支援して結婚につなげているので、ぜひ龍ヶ崎でもやっていただきたいと思う。</p>
9	<p>土日仕事をしている人は来られないので、平日の開催をしていただければありがたいと思う。</p> <p>保育園に勤めているが、ゼロ歳児・1歳児の子どもが少ない。少子化が進んでいるなと思う。</p> <p>空き家ではなく何も無い更地の方が、自分たちの思い通りに建てていけるし、売れ行きがいい気がする。空き家問題をもうちょっと市の力を借りて、更地にしてから売買していただけたらと思うし、もし空き家を使ってということならば、よく全国でやってるようなリノベーションをして、お試して1~2週間住んでもらって、ここはいいところなんだよっていうのを知ってもらって、人の定住に結びつくようなことをしてもらえると。</p> <p>保育園も空き家があるので、準備はできている。</p>
10	<p>子育て支援と人口減少問題ということだが、日本国内に素晴らしいところがある。兵庫県明石市の例もある。予算の編成を変えるだけ。</p>
11	<p>議会からの政策提言に期待しているが、どうやって行政を動かしていくのかお聞きしたい。</p>
12	<p>龍ヶ崎市全体として、限られた予算で防災防犯・福祉・子育て支援などに取り組んでいるが、その配分がどうなっているのか。その中でも子育て支援は大切。</p> <p>玄関口の龍ヶ崎市駅をもうちょっと綺麗にして欲しい。他の自治体と差別化できるなら、お金を削ってほかの分野を犠牲にしても、市民に説明しながらやってほしい。議会でも提案してほしい。</p>
13	<p>人口が減っている実感がないが、どこで5,000人も減っているのか。佐貫は減っているのか。</p>
14	<p>道路の剪定、5丁目の公園もばっさり切られた。役所の部署が連携してやった方がいい。</p> <p>バス停に座っている人が多いので、椅子とかを用意した方がよいのでは。雨の日は屋根が役に立っていないように思う。</p>
15	<p>つくばの子育てが充実しているというのは、TXと常磐線との違いもあると思う。取手よりもたくさんこっちまで来るようにJRに働きかけをすべきだと思う。</p>
16	<p>人口減少という問題は龍ヶ崎だけの問題じゃなく日本全体の問題、そして世界的な問題。今、人口が増えている国というのは、経済的に恵まれてないところ。そうすると、単純にお金をつぎ込むとか、施策をどんどんやったところで人口は減っていくんじゃないかと思う。</p> <p>今日話が出たようなことも必要なだろうが、市政を組み立てるときに人口が減っていくことを念頭に、人口が減ったときにどういう施策を立てて、税金も減ってくるなかで市政をどうやって維持するかということも一方では考えておく必要があるような気がする。</p>

●城ノ内コミュニティセンター

No.	発言内容
1	<p>このような場を設けてくれてありがたい。            白羽2区は、680 世帯、若い方が多い地域であるが若い人が声を上げる場がない。コミュニケーションもとれていない。            子ども達も多く、2つの公園で遊んでいる。室内では遊ぶ場所がなく、コミュニティセンターの狭い場所しかない。            立派なものではなくてよいので、児童館は必要。地域にそのような場所ができれば、本やCDの提供など地域で協力できることもある。            議会で（声を）まとめてくれてありがたい。</p>
2	<p>市に婚活事業に取り組むよう要望してきた。            市独自で相談会を開催しているのは龍ヶ崎市とつくば市の2市のみで、事業を始めてくれたことに感謝している。現状、県が実施している相談会は集まりが悪い。龍ヶ崎で活動する県のマリッジサポーターは以前10人いたが減少中。市は相談員へ有償で相談会を実施しているが、県はボランティアで運営しているところが問題。            婚活については、以前は周囲から結婚を促すことがあったが、職場や家族の意識も変わり、根が深い。企業のOBなどに結婚相談員になってほしい。            さらに社協や民生委員など若者や子どもに接している方に、結婚したい人がいる時にはマリッジサポーターや市の担当課に連絡をいただくだけで非常に助かる。</p>
3	<p>龍ヶ崎市駅前に総合センター(龍ヶ崎未来SDGs 調査研究教育センター)を作り、水族館を作ることを提案。命をつなぐ教育、地球温暖化の教育につながる。その中に子ども達が集まることができる場所を作る。</p>
4	<p>足立区には児童館と高齢者の生きがい施設・学童保育が一体となった住区センターが48カ所ある。学校に設置されていた学童も住区センターに移動した。            龍ヶ崎にはコミュニティセンター以外に集まれる場所がない。</p>
5	<p>2019年から市の「No!ポイサポーター」をしている。2年前からごみ拾いアプリ「ピリカ」を利用しての情報提供を提案している。No!ポイサポーターと連携して利用すれば、効率が上がるのでは。現状、ごみを回収してもきりがない。</p>
6	<p>学校給食無償化の署名運動をしている。3,000近い署名が集まっており、現在議員さんを回り、請願の内容説明を行い賛同してくれる議員さんもいる。本来給食無償化は国がやることと思うが、現状そのようにはなっていないので、自治体で進めてほしい。            城ノ内1丁目の近くの公園は草が茂り、子ども達が遊べない期間がある。先日除草されたら、すぐに遊んでいた。除草回数を増やし、草刈りの依頼にすぐに対応してほしい。</p>
7	<p>学校給食無償化の署名運動で、Instagramを担当している。            今のママさんたちは辛い思いをしながら働いている。私は夫の実家が近くにあるが、働くことをサポートしてくれる環境・意識の改革が必要。サポートしてくれる人がいたら、是非そうしてほしい。学校給食もそのひとつ。子どもが安心して遊べるところもほしい。</p>

8	<p>少子高齢化の中で財政的な問題もあるが、魅力的な市にするためにはお金の使い方が重要。</p> <p>子どもと高齢者と一緒に過ごせる場が大切。</p> <p>学校給食無償化署名運動で代表をしている。近所の子育て中の方から、昨年半年間は給食費が無償化されていたのに今年度から有償になり、負担を感じたとの声がかきつけ。給食費以外にも学校の教材費の負担が大きいと聞いている。</p> <p>子どもが学校で病気になると、仕事を休み迎えにいかなければならない。職場の他の人に負担がかかる。</p> <p>バスが減便になった。通勤・通学に影響があるのでは。</p> <p>一緒に考えて、外から人が入ってくる市にしてもらいたい。</p>
9	<p>湯ったり館が休館となり残念。市民のことを考え、再開してほしい。</p> <p>駅名変更や野球場・フィールドの照明装置など、予算の執行については市民の声を反映したものにしてほしい。</p>
10	<p>駅名改称の検証をしてほしい。</p> <p>森林公園も民間が入って整備されているが、これも検証してほしい。</p> <p>学校給食費無償化は賛成。</p> <p>白羽地区の人口は横ばいで推移している。私は東京に月に2回程度は出かけるが、バス料金が540円もかかる。昼間割引はあるが夜は割引がなく使えない。料金が高いため、龍ヶ崎に住みたいとは思わないのでは。また、市民の声をよく聴きコース設定を考えてほしい。</p>
11	<p>9月・10月に地域のまつりを実施し、地域住民が協力し合い子ども達にも喜ばれた。子ども達は将来の希望を持っている。人間として大切に。学童保育も大切。</p> <p>子どもの居場所作り、親の仕事の場などあれば人口が増やせるのでは。</p>

## ●川原代コミュニティセンター

No.	発言内容
1	<p>人口減の原因を掴まないと、次の課題に進行できない。人口減の要因がわかれば、お話があれば、教えていただきたい。</p>
2	<p>市役所主催の結婚相談会は、県主催のものよりも参加者が多く、今後も続けていただきたい。また、市役所の横の連携を活用して、形を変えた結婚相談会をやっていただきたい。</p> <p>1,000名いた県のマリッジサポーター（ボランティア）が、現在200名まで減っている。65歳の定年退職者の方に協力してもらい、「龍ヶ崎市結婚相談員」になっていただくことを提案する。任意団体としてやれば、活動しやすくなる。また、ボランティアではなく、お金をある程度かけてやってほしい。</p>
3	<p>龍ヶ崎市の子育て支援は少な過ぎる。日常生活で困っていることを支援していただきたい。幼児2人同乗用自転車の補助、おむつクーポン、ランドセル補助など。</p> <p>低所得者世帯だけではなく、幅広く子育て支援世帯にお金が回るように、みんなが使うものにお金をかけてほしい。</p> <p>さんさん館や駅前こどもステーションは4歳になったら使えなくなり、市内には遊ぶところがなくなる。保育士という資格だけに絞らず、福祉の経験があった方や児童厚生補助員みたいな形で、人を増やして子どもが安全に遊べるような環境を作るべきだと思う。</p> <p>子育て世代が来るような場所（学校など）で意見交換会を開催するべきだと思う。</p> <p>龍ヶ崎市駅前をもう少し活性化してほしい。企業や商業施設の誘致をしてほしい。</p> <p>子育て世代が来るような場所でこのような意見交換会を開催してほしい。</p> <p>空き家を活用するのではなく、更地にして新しい人（若者）に利用してもらうための補助制度を作してほしい。</p>
4	<p>10月19日に川原代小学校で「ふれあい健康まつり」（敬老会）が開催された。感謝している。</p> <p>高齢者一人暮らしだが、子ども食堂で、1食400円で素晴らしいお食事をいただいている。このような場所がもっと増えてくれればと思う。</p> <p>コミュニティバスの料金（200円）をもっと下げてくださいと嬉しい。</p> <p>龍ヶ崎市は「核廃絶平和都市」を宣言している。これからも、そのような気持ちでいていただきたいと思う。</p> <p>高齢者が入る住宅が足りないというニュースをよく聞く。私がいなくなったら、自宅を提供できたら嬉しいと思う。</p>
5	<p>20代～40代前半ぐらいまではどうしても龍ヶ崎に定住しない、流出してしまっているが、その原因はどこにあるのか、どういうふうに把握してらっしゃるか、それにどう対処していこうとしているのか。</p> <p>テレビ番組でも報道されていたが、特に田舎に行けば行くほど男尊女卑が激しく、女性が社会進出できないという地域の仕組みになってしまっているということを地方の知り合いから聞くと、龍ヶ崎市ではそのあたり、どういうふうに取り組みをしていこうとしているのか。</p>

6	今は仲人さんがいなくて、お金がないと結婚ができないというような状態だが、議員さんたちはどう思っているか。 地域の集まりは高齢者ばかりで、40代・50代の方は出てこない。
7	「No！ポイサポーター」として活動している人が少ない。 ゴミ拾いアプリ「ピリカ」を活用して、「No！ポイサポーター」が連携し、ポイ捨てごみ「0」を目指す市となってほしい。ゴミが多い地域は犯罪率が高い傾向にあるので、ゴミ拾いから治安を維持し、龍ヶ崎市に人を呼び込むことに繋げたい。 ゴミ袋は持ち出しになっているので、市から助成していただけるとありがたい。
8	少子化対策に関することであれば、小学校などで開催すれば良かったのではないかと。 小・中学校の統廃合が増えてくると思うので、小・中学校を1つの義務教育学校にした方がよい。少人数学級や先生不足、部活動の人数不足の問題などもなくなる。
9	人口減少という言葉は、必ずしも悪ではない。人が減っても、収入や資源があれば財源が確保できるので、人口減少と少子化問題は分けて考えるべきだと思う。
10	小児科が少なく、小児科のお医者さんが高齢化していて不安がある。 地域の方が公園を管理してくれてはいるが、除草が十分ではなく子どもたちを安全に遊ばせられない。砂利や人工芝にしてはどうか。
11	龍ヶ崎市の子育てに魅力がない。駅前が寂れている。 牛久沼の魚、プランクトンを中心とした水族館を龍ヶ崎市駅前に作ってほしい。生命のつながりを子どもたちに伝えていく。

●龍ヶ崎西コミュニティセンター

No.	発言内容
1	<p>人口減少は、まちに魅力がないから。龍ヶ崎市に何か魅力的なものを作れば問題が解消するのでは。</p> <p>過疎化した町が鉄道を通したことによって、観光客が倍になったという事例がある。龍ヶ崎市でもバスと電車が融合したシステムを導入すれば、観光客が来るのではないかと。</p>
2	<p>人口減少は全国的なこと。議会や市が行っているのは、生まれた子どものための施策。安心して結婚して子供を産み育てられる環境をつくるために、工業団地に工場を誘致するなど働く場所が必要。今いる世代の人を外へ出さないような方法をとるのが一番ではないかと思う。</p>
3	<p>高砂市営住宅跡地は、上下水道が整備されている良好な土地なので活用すべき。市の回答（令和元年5月28日）では、「近い将来に立地特徴・特性を活かして、民間企業へ一括売却を考えている」とのことだったが、令和5年10月に担当課に進捗状況を聞いたところ、いまだに議論をされていないとのことであった。</p> <p>高砂環境整備委員会の要望「市営住宅跡地の土地利用・活用促進案として、土地区画整備を実施して、建て売りを前提条件に安価で最低坪数70坪ぐらいで特に若い夫婦を対象に居住させてはどうか。」への回答が欲しい。</p>
4	<p>魅力は他市に劣る。現役の子育て世代には、さんさん館は3歳までしか使えないなど、子育て支援のコミュニティについて物足りなさを感じる。中・長期的に中学生ぐらいまでサポートしてもらえるような施設の充実を訴えたい。</p> <p>若い世代が離れぬよう、働く場所をつくる・働き方改革を進めていくなど、若い世代により収入が増えるような取組をしてほしい。</p> <p>龍ヶ崎にある企業と行政が連携して、龍ヶ崎在住の子育て世代への手当があれば、収入面のサポートになり子育て世代が流出しないのでは。</p>
5	<p>空き地・空き家の問題がある。土地の持ち主にいくら言っても管理してくれない土地や、持ち主が誰もいない空き家があり、困っている。</p>
6	<p>教職員で3年の育休期間をとれるが、育休中の保育園の入所は、出産した年と翌年の長くて2年間。第三子の育休を取得していると、第二子は幼稚園への転園が必要になり、子育てという親目線のフォローもあるが、子どもの負担も考えると、子どもが育ちやすい地域であるべきだと思う。転園に伴い園服・リュックなどを揃える経済的な負担も生じる。</p> <p>親元で子どもの成長を見守りたい想いは強くあるが、継続して保育園に通うためには仕事復帰をせざるを得ず、相談しても「こういう制度なのでご了承ください」で終わってしまう。これらのことで困っていて、毎日精一杯の家庭があることを知ってもらいたい。保育園は働く家庭が対象なことはわかるけれども、世の中では「誰でも保育園の制度」をだんだんと広げていく流れもある。ぜひ龍ヶ崎市でもそういった声を拾ってほしい。</p> <p>土日の子どもの居場所について、さんさん館は年齢制限があり、上の子と下の子で一緒に過ごす場所がなく、困っている。私自身は今年の夏から土日に市民交流プラザを利用し、個人的に子どもたちが遊べる場というものをつくって子育て支援の活動中。そこでも上の子が小学生で下の子が3</p>

	<p>歳の場合、一方は自分の好きな遊びの対象があって一方は目が離せない。そのような場合の土日の居場所について、たくさん声が上がっている。</p> <p>まちなか再生のプロジェクトに3回参加した。出身が龍ヶ崎ではないので、たくさん素敵なおところを知ることができた。商店街にも子どもたちに関するにぎわいがあればと感じている。空き家なども活用できればよい。子育て支援、例えば、たつのこやまの公園とまでは難しくとも、そういったところが他にもあれば。子育て世代は車での移動が多いので、駐車場がない公園が非常に多く問題だなと感じている。</p> <p>龍ヶ崎は「治安が悪い」と聞いていて、実際に危ない目に遭ったということはないけれども、空き家やパチンコ店の跡地など、子どもを近づけたくない場所が多くあるように感じた。そういったところも含めて、子育て世代のお母さん・お父さんのお話を聞いていただきたい。今回の懇談会では、子育て世代の参加は多かったのか？是非、子育て世代の中に入ってほしい。さんさん館にはお母さんたちがたくさん来ている。子どもたちは先生方が見てくれるので、そういった環境の中に入って説明し、たくさん意見を聞いてもらいたい。</p>
7	<p>「子育て支援」と「人口減」をリンクさせる必要があるのか。人口を増やすには、生活を充実させないといけない。子育て支援に対しては、身近で切実な問題があって、分けて進めたほうがいいのか。</p>
8	<p>雇用を増やすことが重要。働く場所ってということは必ず最優先に。これからやっていくのが我々の仕事だと思っているので、皆さんと一緒に頑張っていきたい。</p>
9	<p>子育て支援策について9月にアンケートを実施し、すぐに提言をまとめられて市に提出したその努力・成果に対して敬意を表すが、何がセールスポイントなのかをお聞きしたい。</p> <p>子育て支援については非常によくやっていることは理解できるが、人口問題については恐らく分析・解析を全然行っていないのでは。インカムが少ない、働く場がない。周りを見ても、公務員に就職した方しか龍ヶ崎に残っていない。考え方の切り口を変えないと、よさそうな答えが出てこないと思う。</p> <p>ニュータウンがゴーストタウン化している。例えば、都内に就職が決まったけれど、二世帯では住めないからと出て行ってしまおう。</p> <p>ニュータウンには空きがたくさんある。もし条例で「二世帯住宅にするのであれば市からこんなサポートができる」とあれば、都内まで通うには少々便はよくないが、我慢の範疇だと。龍ヶ崎の地理的な特質をよく分析し、それに経済的な側面を加味して、市としてもアプローチを提言するというのもひとつだと思う。</p>
10	<p>姫宮第2公園から見ると斜めの場所に100坪ぐらいの土地があり、「緑地地区」と看板が立てられている。道路際の大木が電話線や電線へ影響したり、防犯灯が影になったりして、枝が出ていると消防自動車も入れない状態。コミュニティバスも避けながら通っているので、根本から切ってもらえるよう市役所に話してもらいたい。</p> <p>ダスキンの裏の道でU字溝が道路より50センチ低いところがあり、車が落ちないように仕切りがあるがそれが邪魔で道路を広く使えず、また、低いだけ常にごみがいっぱいたまっている。U字溝の高さにできないものか。市へ要望してほしい。</p>

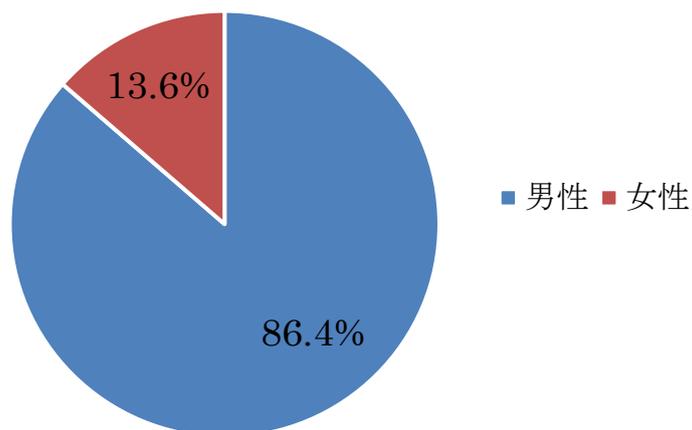
<p>11</p>	<p>市の子育て支援の中に、子どもが生まれる前から1歳まで、家事を1時間500円で利用できる制度があるが、家にどういった方が来るのかわからない。赤ちゃんがいる家に上がってくることになり、訪問者が衛生面などを気にしている方なのか抵抗がある。コロナで感染症などの心配もあり活用しにくい。こども家庭課に伺ったところ、「1年間で4件の利用ということで需要がない」と話していた。市は「こういうことをしています」とすごく言うけれども、中身がお粗末。市民に何が必要とされているかをもう一度考えてもらいたい。サービスを受ける側が何を心配しているのか、そういったところが分かっていない。制度化するときにはよく考えてもらいたい。</p> <p>「たつのこやま管理棟にあるトイレが新しくなりました」とりゅうほーに掲載されていたので行ってみた。確かにきれいになり、これならば安心して利用できるかなと思った。ただ、授乳室の中にミルクを調乳するお湯が出る機械があるが、授乳室の中へは男性が入りにくい。市は「男性も育児参加しましょう」「龍ヶ崎市の職員も何%が育児休業をとりました」など押しているのは分かるが、設備の作り方についても考えてもらいたい。</p> <p>トイレの入口が一つ。現在、公共のトイレは性犯罪などで問題になっている。いろいろな子育て支援センターなどでは男性が近づいて女性のトイレに入らないよう、入口は異なるように作られている。子ども1人でトイレに行かなければならないこともあり、そういったところで目の届かない場所もある。</p> <p>授乳室は男性トイレの隣にあり、男性が手を洗うところの隙間と授乳室の隙間が同じで、男性トイレに入っていた子どもの姿が見えびっくりした。利用する側を考えて設計されていないので、是非みなさんに御覧いただきたい。ほかの施設にもそういったことが起こりうるかもしれないので、ぜひ、見ていただけたらなと思う。</p>
-----------	---

### 3 アンケート結果

<注> 端数計算の関係で、割合の合計が100%とならない項目もあります。

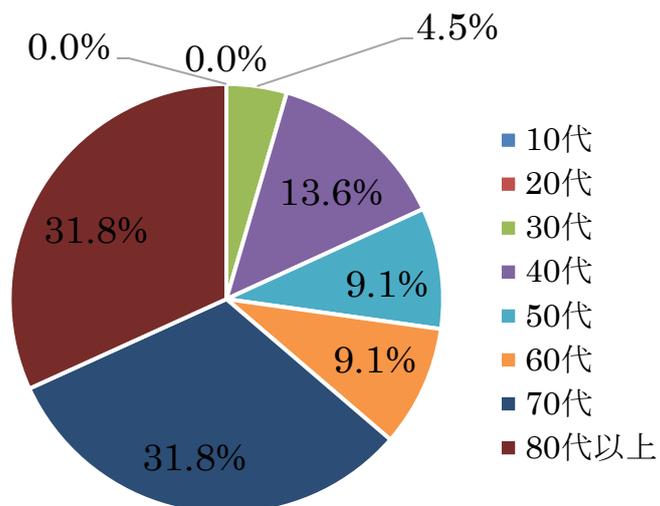
【松葉コミュニティセンター】 <回答者：22名>

#### ★参加者の性別



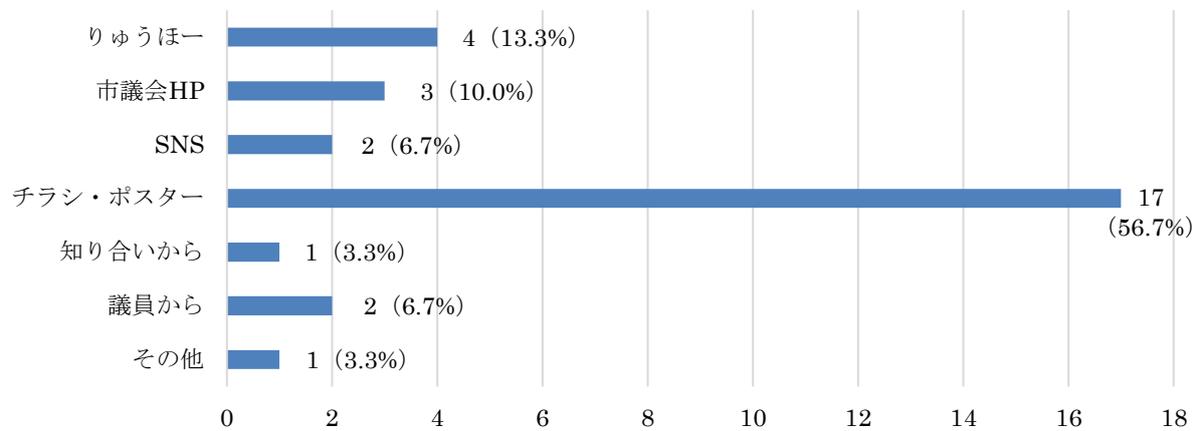
●男性の割合が多く、全体の9割近くとなりました。

#### ★参加者の年代



●「70代」および「80代以上」の層が最も多く（各31.8%）、次いで「40代」（=13.6%）という順でした。

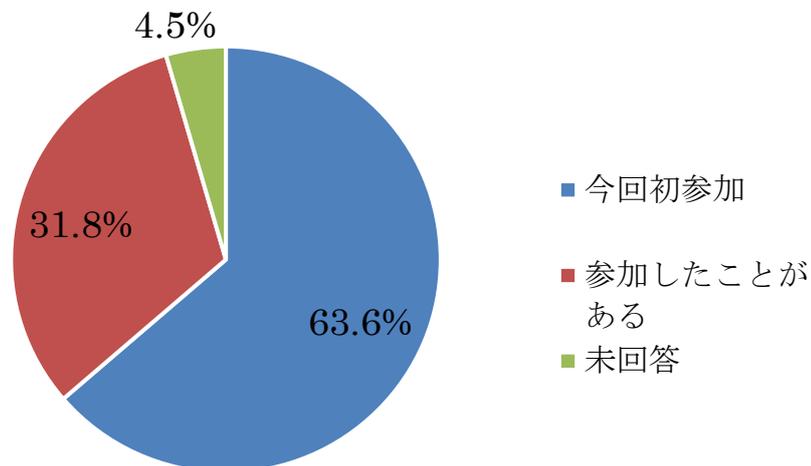
★本日の意見交換会を何でお知りになりましたか



※複数回答あり

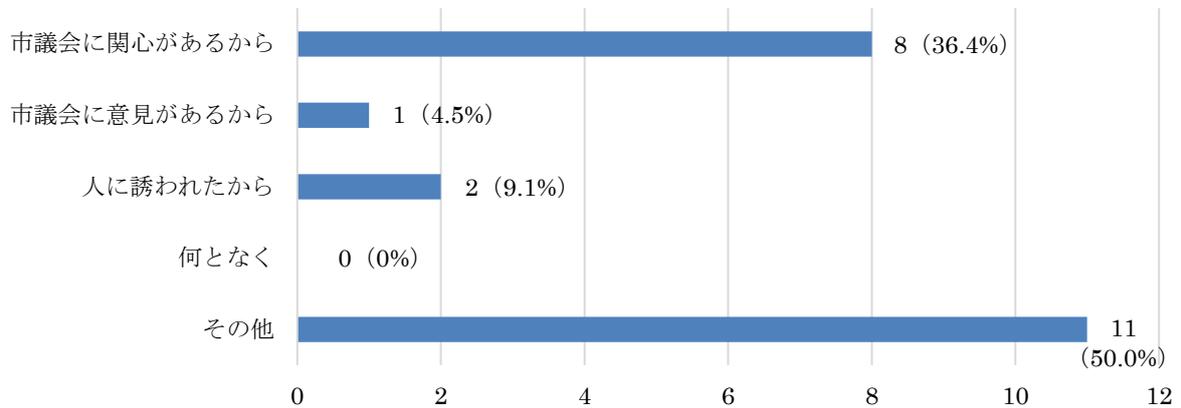
- 「チラシ・ポスター」で知ったという割合が圧倒的に多い結果となりました。
- 「その他」として、「11月2日に開催された『都市計画マスタープラン（素案）に関する市民説明会』に参加した際に、案内があって知った」という回答もありました。

★議会報告会・意見交換会への参加について



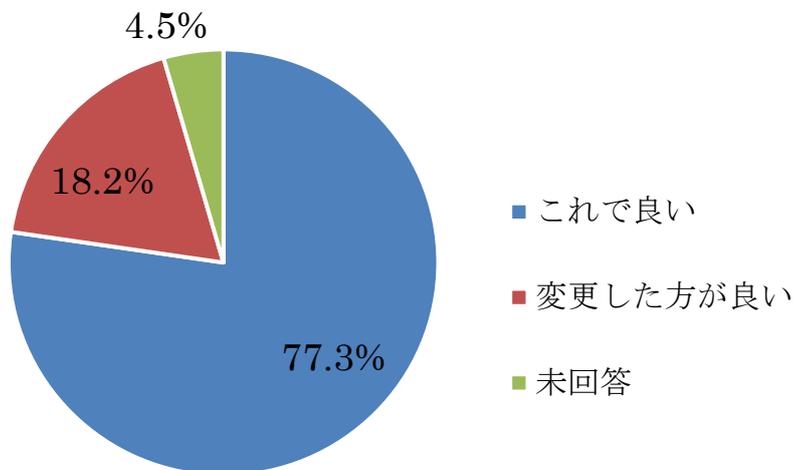
- 6割以上の方が「今回初参加」という回答でした。

★今回、参加された理由は何ですか



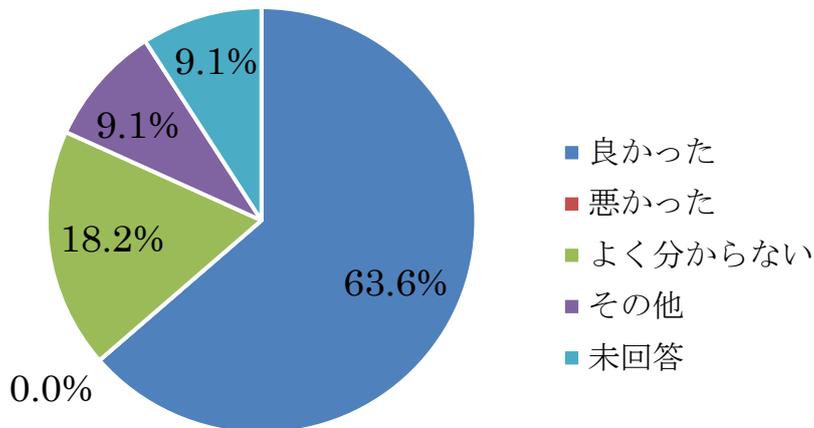
- 「その他」と回答した方が最も多く、具体的な理由としては「今回の報告事項のテーマ（子育て支援・人口減少問題）に関心があったから」という回答が多く寄せられました。

★日時・会場について



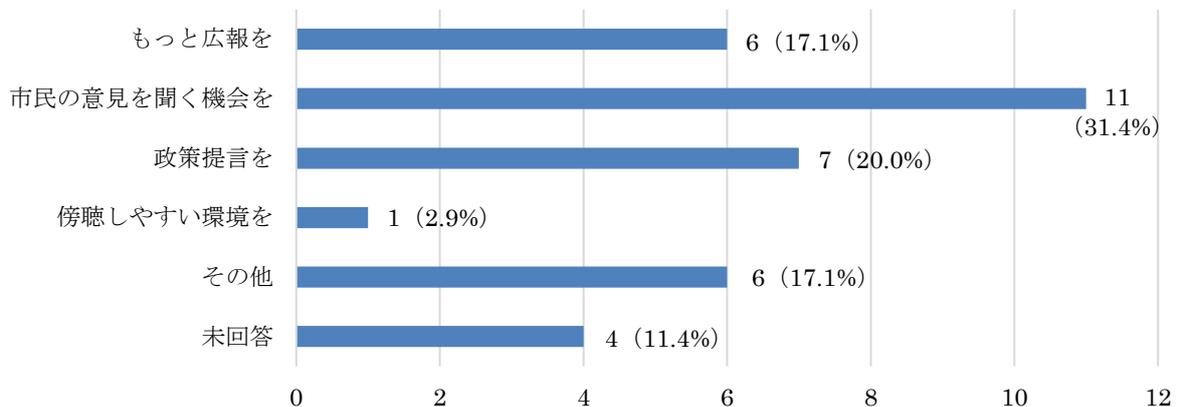
- およそ8割の方が「これで良い」と回答しました。
- 「変更した方が良い」と回答した方からは「地区の行事と重ならない日程にしてほしかった」「平日の開催が良い」「毎月、土曜・日曜に」といった意見が寄せられました。

★今回の報告会のテーマについて



- 「子育て支援と人口減少問題」という今回のテーマについては、「良かった」と回答した方が最も多く、6割以上となった一方、「悪かった」と回答した方はおりませんでした。
- 「その他」として、「今後の自身の活動の参考になった」という意見なども寄せられました。

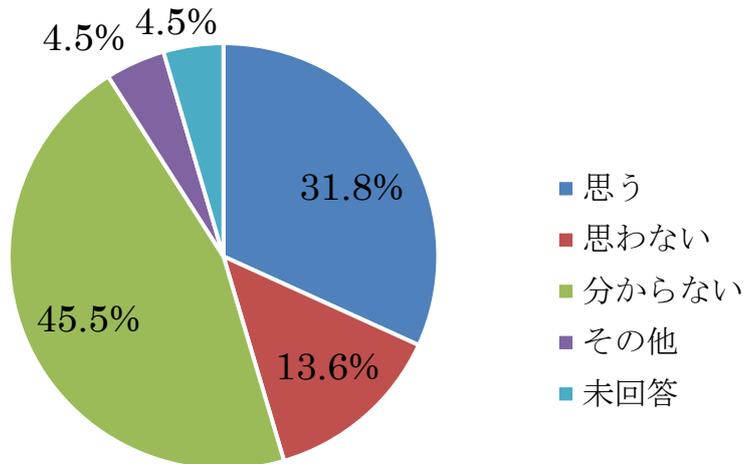
★市議会に望むことは何ですか



※複数回答あり

- 「市民の意見を聞く機会をつかってほしい」という回答が最も多く、次いで「政策提言をしてほしい」という順になりました。
- 「その他」として、「提言の実現を期待しています」「市の存在を全国へアピールしてほしい」「毎月、意見交換会をお願いします」等の意見が寄せられました。

### ★市議会が市民の声を反映していると思いますか



- 「分からない」という回答が5割弱と最も多く、次いで「思う」が約3割という結果になりました。
- 「その他」として、「広報（＝市議会だより？）だけでは不十分で、市民に伝わっていない」という意見も寄せられました。

### ★その他お気づきの点があれば、ご自由にお書きください

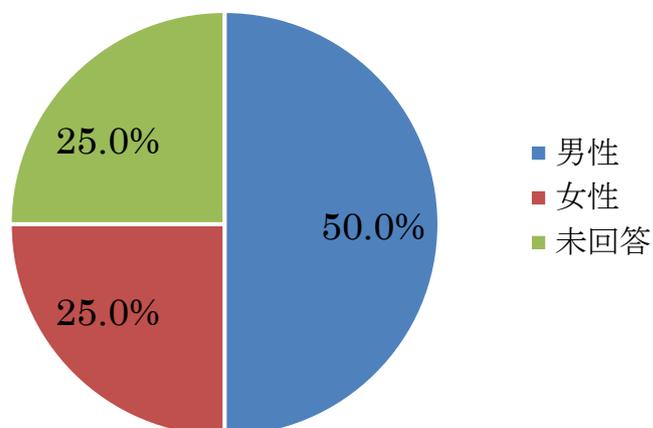
～以下のご意見をいただきました～ ※内容は基本的に原文を尊重しています。

- 今回のような取組を出来る限り続けてほしい。
- 子育て支援はもちろんのこと、結婚・出会いの支援も必要と考える。
- 空き家をリノベーションし、田舎留学として短期間のお試しを計画しては。
- 「龍ヶ崎」をアピールするための駅前開発を（学生が利用できる勉強ルーム。これがあると保護者が迎えに来るまでの待ち時間利用ができる。）。
- コミュニティバス予算を見直し、必要なルートをしっかりと見極めてほしい（バス会社との癒着では？と思わせる程、乗車人数が0人でグルグル回っているイメージ）。
- 小・中学校の給食費無償化、新1年生へのランドセル配布を考えてほしい。
- 松葉小跡地は「防災センター」として、市・民間で検討してほしい。
- 生まれてくる子どもの中には、病気や障がいを持っている方もいると思う。また、それが分からずに生活している方もいる。施設を作るのは大変だが、保健センターや市の医療機関所属の専門家（Ns・PT・OT・ST・その他）が学校などに向いて、教育機関を支援することもよいと思う。今ある社会資源を十二分に活用していただければと思う。

- 市のフィルムコミッション、市の魅力をアピールするためソーシャルメディア（Instagram、YouTubeなど）を活用し、若者の目につくようにするのはいかがか？ 民間企業も、デジタルツールの活用も必要と考える。ドラマ・映画のロケ、市のオリジナルCM（例えば、野口啓代さんなど有名人の起用）などを作ってみるなど。
- 外国人も多く見られ、市内・駅前などでも労働者など見かける。警察の方からも、外国人の犯罪が増えたと聞く。子ども達が地域・町中を安全に出歩けないことも（移動問題）あると思う。地域交流、学校や地域コミュニティを中心にお祭り・イベントが減ったことも関係性が希薄になった原因とも考える。地域活動を市の方でもバックアップしていただければと思う。
- 孫が馴柴小にいる。給食のときに、議員の方も出席して食べていると思う。給食当番のエプロンを見て欲しい。ポロポロである。他の小学校も同じ。
- 貴重な機会をありがとう。
- 龍ヶ崎市駅前に賑わいがほしい。駐車場ばかり目立つ。駅の周辺（特に牛尾病院の近く）に住宅を増やせばどうかと思う。更に松葉地区までの間。

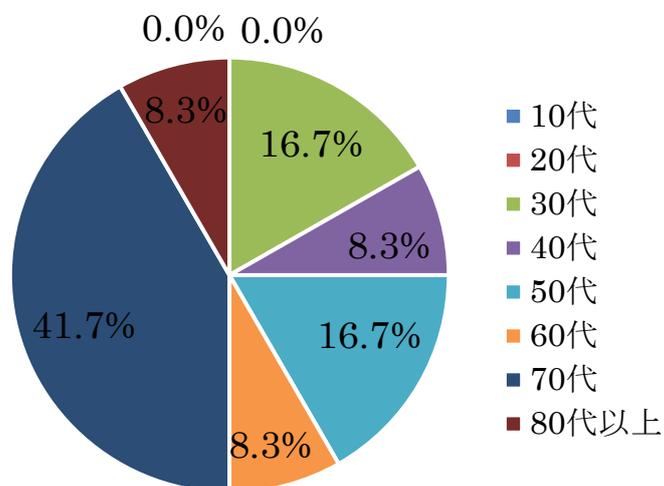
【城ノ内コミュニティセンター】 <回答者：12名>

★参加者の性別



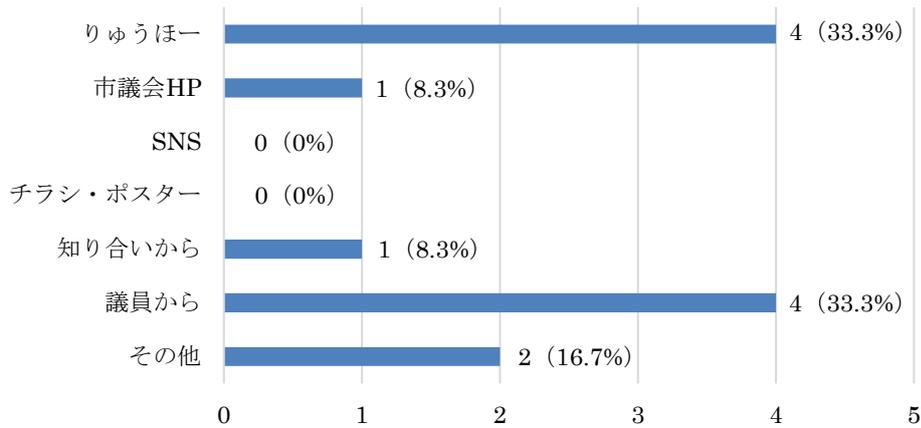
●未回答の方を除くと、男性が女性の2倍という結果でした。

★参加者の年代



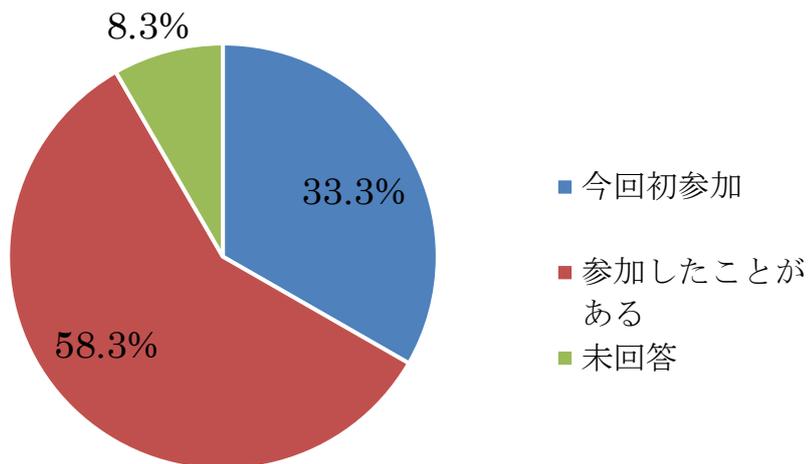
●「70代」の層が約4割と最も多く（41.7%）、次いで「30代」「50代」（各16.7%）という順でした。

★本日の意見交換会を何でお知りになりましたか



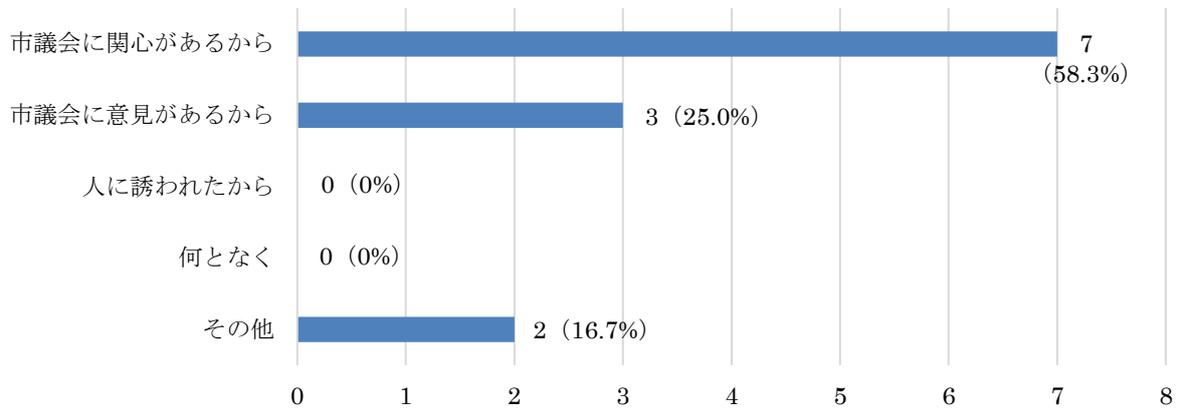
- 「りゅうほーで知った」および「議員から聞いて知った」という回答が最も多い結果となりました。
- 「その他」として、「11月2日に開催された『都市計画マスタープラン（素案）に関する市民説明会』に参加した際に、案内があって知った」という回答もありました。

★議会報告会・意見交換会への参加について



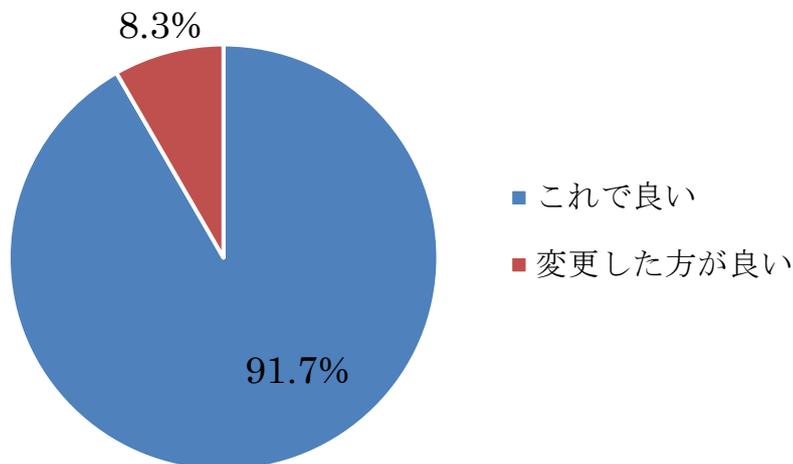
- 6割弱の方が「以前も参加したことがある」という回答でした。

★今回、参加された理由は何ですか



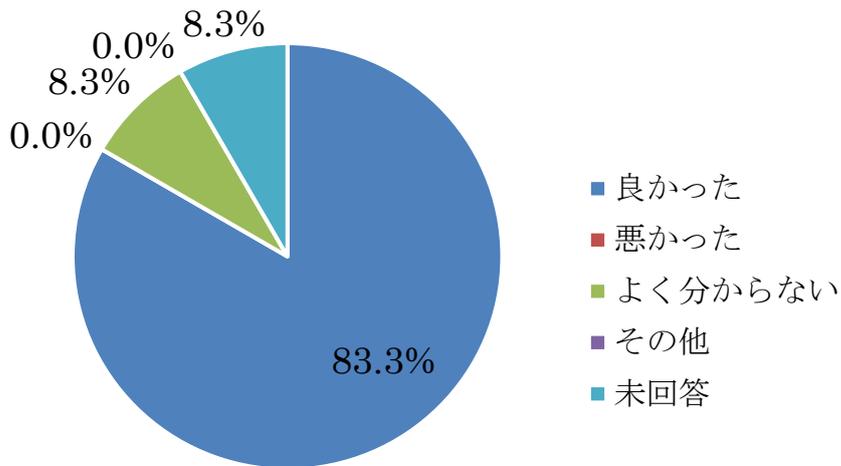
- 「市議会に関心があるから」と回答した方が最も多い結果となりました。
- 「その他」として、「自治会として、地域住民の声として重要なので」「子育て支援の仕事（事務局として）、まちづくりNPOをやっているのので」という理由がありました。

★日時・会場について



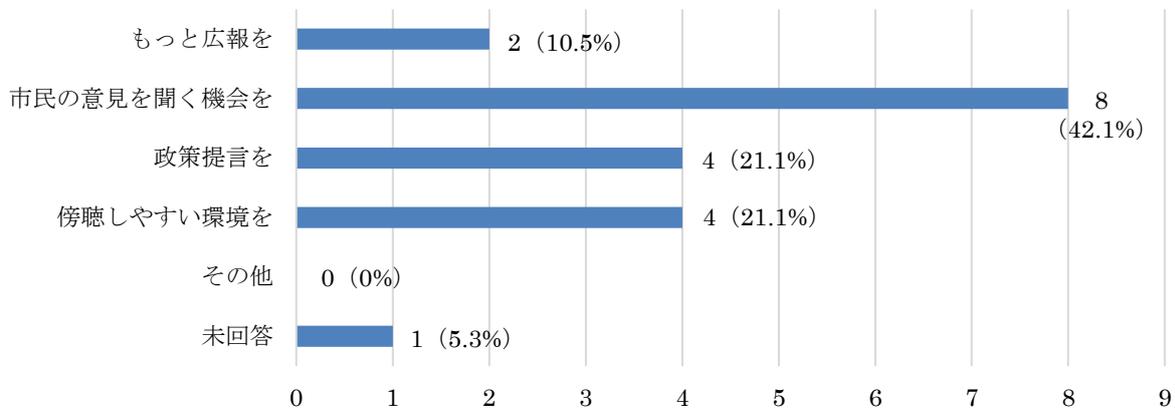
- 約9割の方が「これで良い」と回答しました。
- 「変更した方が良い」と答えた方からは「日曜日にしてほしい」という意見が寄せられました。

★今回の報告会のテーマについて



- 「子育て支援と人口減少問題」という今回のテーマについては、「良かった」と回答した方が8割以上となった一方、「悪かった」と回答した方はおりませんでした。

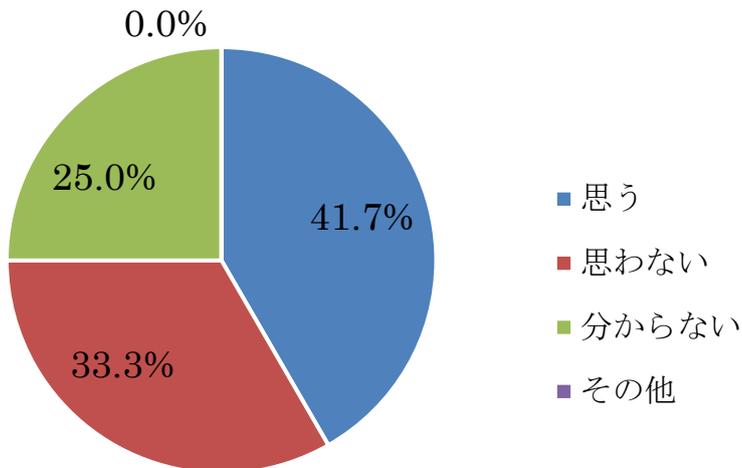
★市議会に望むことは何ですか



※複数回答あり

- 「市民の意見を聞く機会をつくってほしい」という回答が最も多く、次いで「政策提言をしてほしい」、および「傍聴しやすい環境をつくってほしい」という順になりました。

### ★市議会が市民の声を反映していると思いますか



- 「思う」という回答が約4割と最も多く、次いで「思わない」が約3割という結果になりました。

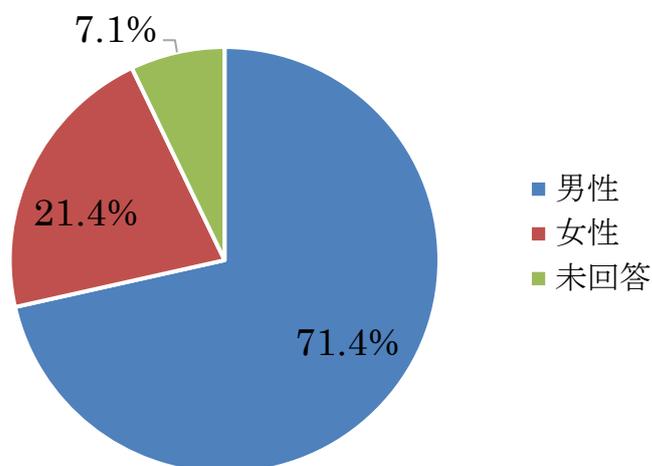
### ★その他お気づきの点があれば、ご自由にお書きください

～以下のご意見をいただきました～ ※内容は基本的に原文を尊重しています。

- 大事なことは人間教育。今は、頭が良ければ良い子で喜ばれる時代。お金があれば何でもできる時代は間違っていると思う。私達は、地区のお祭りも住民の人達の積極的な協力で無事に終了し、感謝している。
- 龍ヶ崎市の駅前、ハローワークの近傍に児童や若者が集まる総合会館（龍ヶ崎未来SDGs調査研究教育センター）を作してほしい。
- 人口減少問題が近年クローズアップされているが、もっと早く対応すべきでなかったか。出産・育児などに十分に支援していたら人口減少が緩和されていたのではないかと思う。
- ポイ捨てが多い地域は犯罪率が高いという統計が出ているので、2019年5月から「No！ポイサポーター」で活動している。2022年からゴミ拾いアプリ「ピリカ」を使用している。龍ヶ崎市ではピリカ利用者が2名しかいないので、No！ポイサポーターと連携してほしい。
- ゴミ拾いをしていると、たまに個人情報の入った物を見つける時がある。市外からゴミが持ち込まれるケースがあるので、龍ヶ崎を不法投棄されやすい地域にしてはならないと思う。
- 学校で「ポイ捨てはいけない事である」との再教育をお願いしたい。
- 質問は5分以内と決めた方がいい。

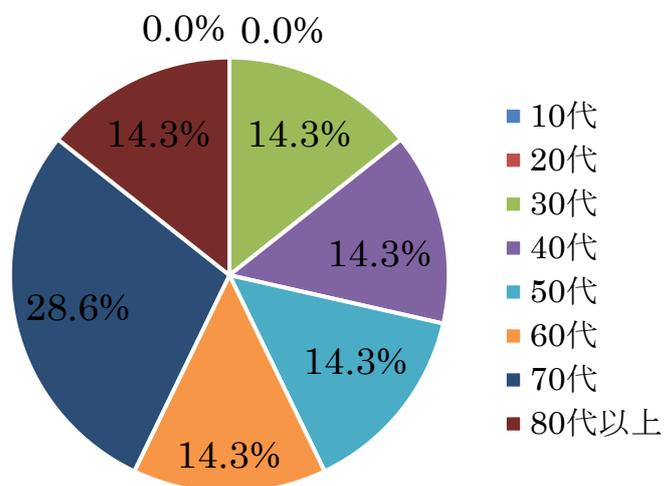
【川原代コミュニティセンター】 <回答者：14名>

★参加者の性別



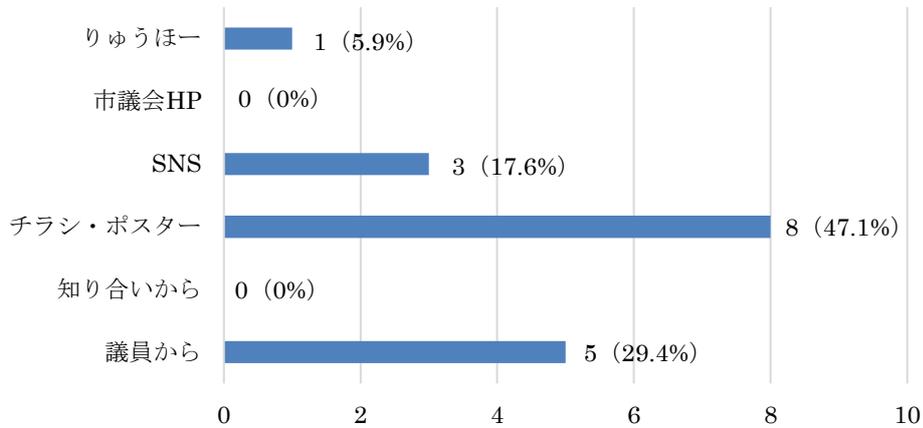
●未回答の方を除くと、男性が7割強という結果でした。

★参加者の年代



●「70代」の層が3割弱と最も多く（28.6%）、それ以外では「30代」「40代」「50代」「60代」「80代以上」が同率（=各14.3%）であり、20代以下の参加はなかったものの、それ以外では比較的バランスの取れた年代の方に参加いただきました。

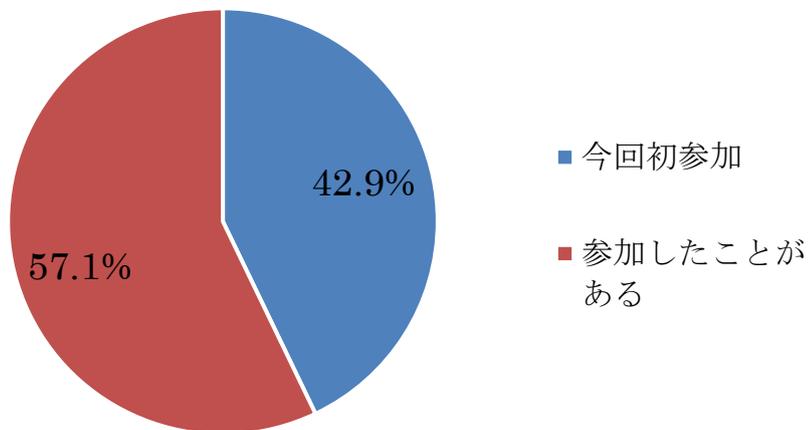
★本日の意見交換会を何でお知りになりましたか



※複数回答あり

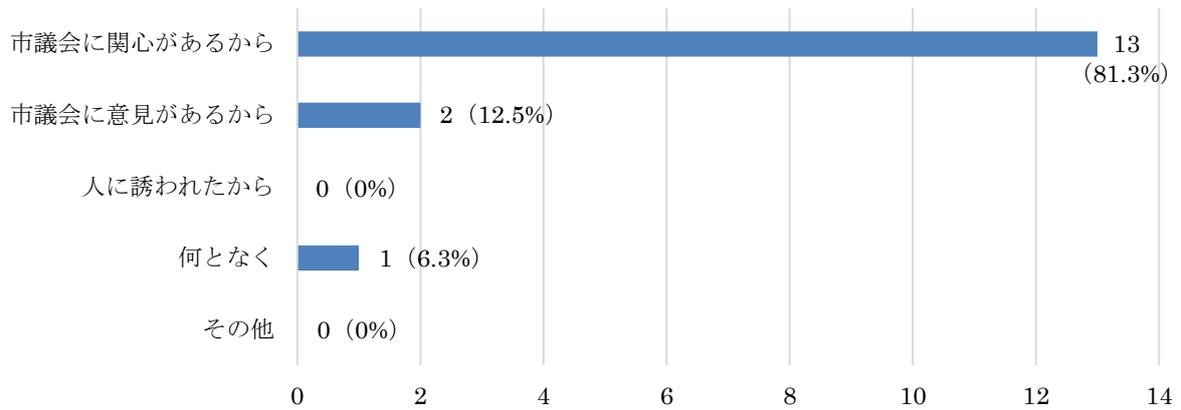
- 「チラシ・ポスター」と回答した方が最も多く、次いで「議員から聞いて」という結果となりました。

★議会報告会・意見交換会への参加について



- 6割弱の方が「以前も参加したことがある」という回答でした。

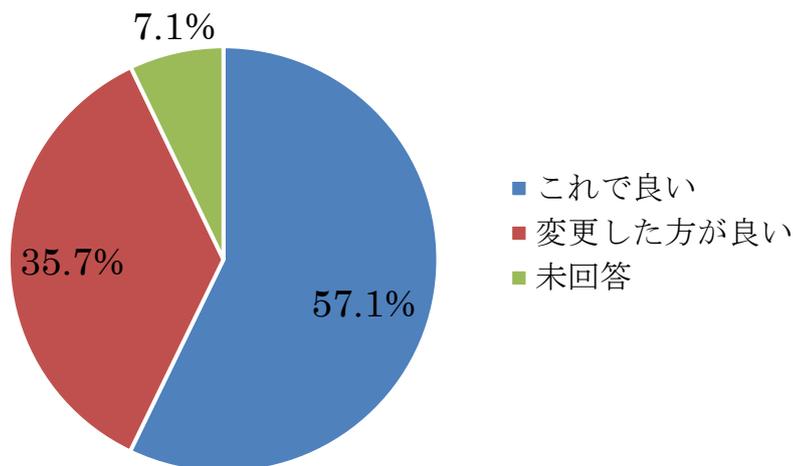
★今回、参加された理由は何ですか



※複数回答あり

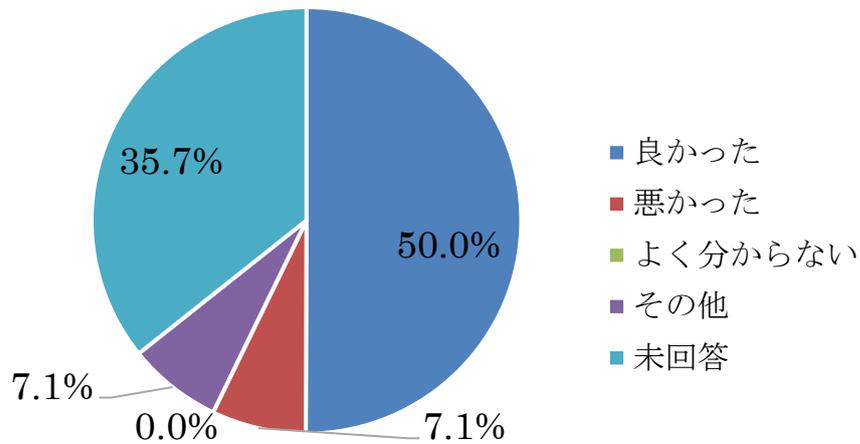
- 「市議会に関心があるから」と回答した方が圧倒的に多い結果となりました。

★日時・会場について



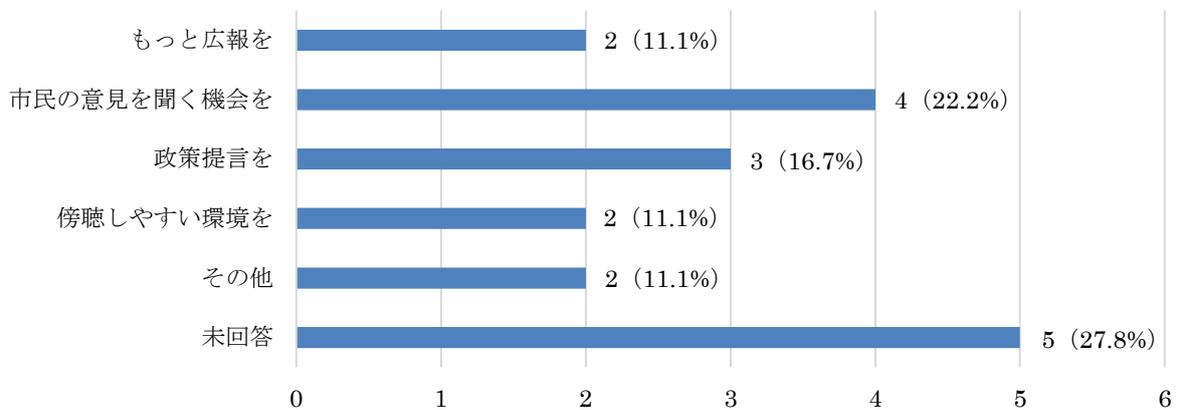
- 6割弱の方が「これで良い」と回答しました。
- 「変更した方が良い」と答えた方からは「少子化がテーマなので、場所が分かりやすいから会場を『小・中学校』にしては?」「定例会ごとに年4回開催してほしい」「子育て支援について話し合うならば、子育て世代と話し合えるような場所で行うべき」などの意見が寄せられました。

★今回の報告会のテーマについて



- 「子育て支援と人口減少問題」という今回のテーマについては、「良かった」と回答した方が最も多く5割という結果でしたが、「悪かった」と回答した方もおり、「全体的に議員さんの具体的な意見・政策が分からない」というご意見も寄せられました。

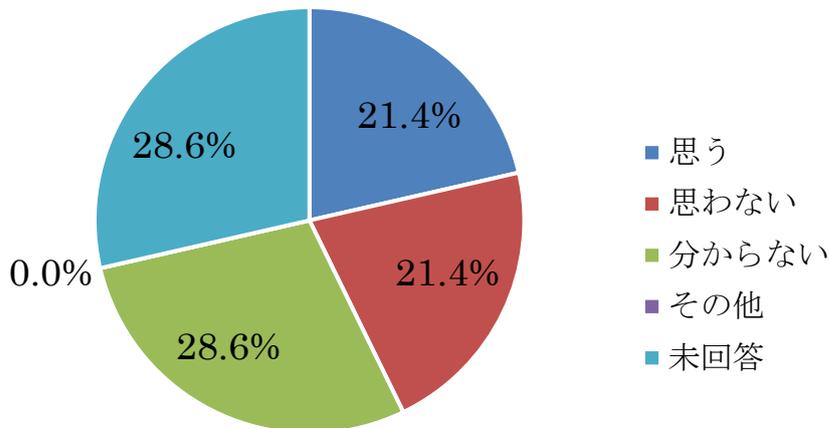
★市議会に望むことは何ですか



※複数回答あり

- 未回答の方を除けば「市民の意見を聞く機会をつかってほしい」という回答が最も多く、次いで「政策提言をしてほしい」という順になりました。

### ★市議会が市民の声を反映していると思いますか



- 最も多かった「分からない」という回答（および「未回答」）が3割弱であり、「思う」「思わない」という回答もそれぞれ2割強を占めるなど、全体的にばらつきのある結果になりました。

### ★その他お気づきの点があれば、ご自由にお書きください

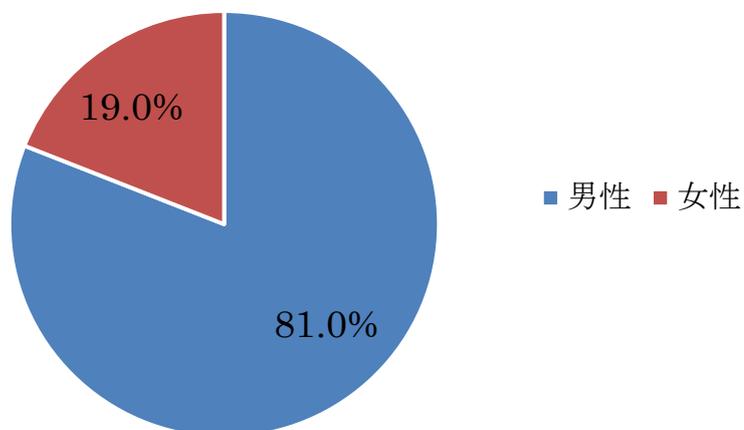
～以下のご意見をいただきました～ ※内容は基本的に原文を尊重しています。

- このような会を設けることはとても良い。
- オンラインで開催なども検討してほしい。
- 県のマリッジサポーターの人員が減少している。これに代わるものとして市役所が関わって市独自の「結婚相談員」を新規に設けてほしい。企業で65歳で定年退職する人を中心に協力させてほしい。
- まず、原点として「人口が減ると何が悪いのか」をしっかりと明示してから意見交換を始めるべきではと思う。
- 今住んでいる家は、夫と共に一生懸命ローンを組んで建てた大事な家。夫亡き今、一人娘一家も仕事ゆえ、都内に家を買ってしまった。大事なこの家がそのうち要らなくなる（私、今85歳）。工夫して、何かに役立ててほしい。高齢者用のホームが足りないとか聞いている。我が家を無料で差し上げたい。
- コミュニティバスが値下げになると嬉しい。
- 緑豊かで、龍ヶ崎はきれいな市。大事にしたい。
- 今回、報告会に初めて出席させていただいた。これからも機会を得て、このような会を企画していただければ良いかと思う。議員の方々のお話も、忌たんなくお伺いさせていただいた。

- 今の子育て支援策はとても少ない（このような政策では人口は減るばかり）。明石市くらいの子育て支援を。
- もっと日常で使えて助かるような子育て支援が必要（おむつクーポン、ランドセル提供、医療費1人300円など）。
- 0～15歳まで利用できる児童センター作ってほしい。
- 第3子ではなく第1子からの手厚い子育て支援を受けることのできるような政策を考えて。
- 子育て世代が住みやすいならば、若者も住み続けようと思うのではないか。
- 次回の意見交換会は、現在の子育て世代と話し合える小学校の体育館や、さんさん館などで行うようにしてほしい。

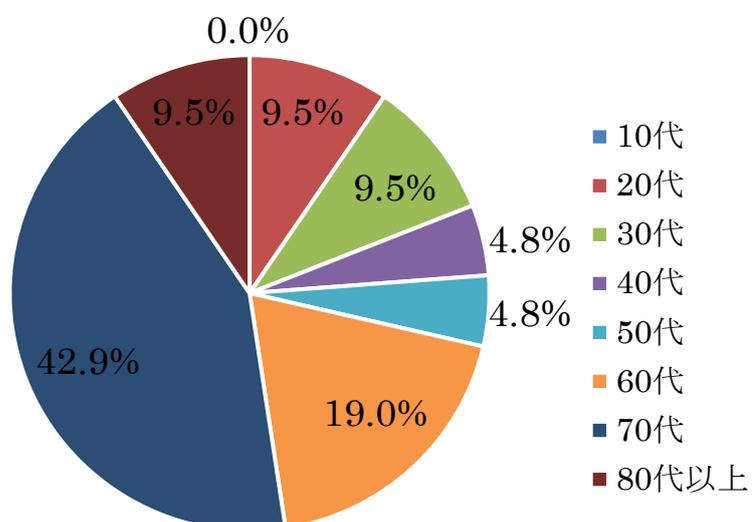
【龍ヶ崎西コミュニティセンター】 <回答者：21名>

★参加者の性別



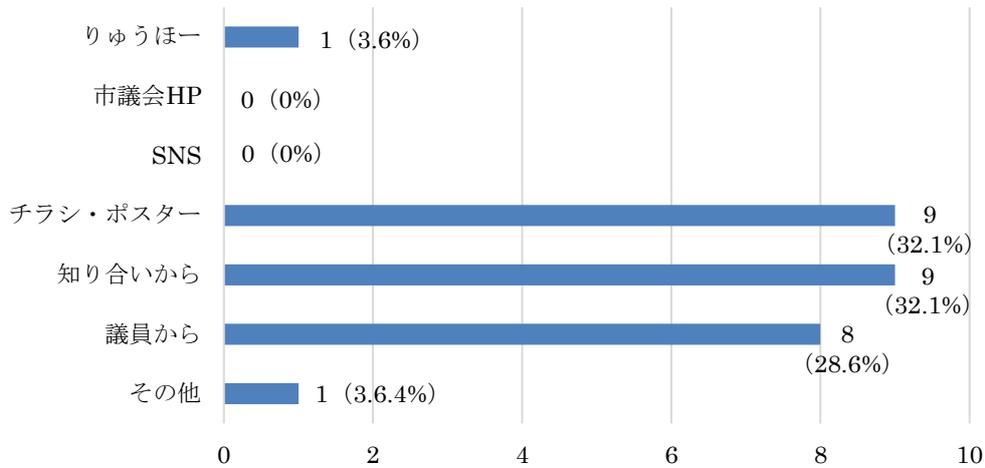
●男性が8割強という結果でした。

★参加者の年代



●「70代」の層が4割強と最も多く（28.6%）、次いで「60代」（=19.0%）という順でしたが、「20代」「30代」など、いわゆる子育て世代の方々にもご参加いただきました。

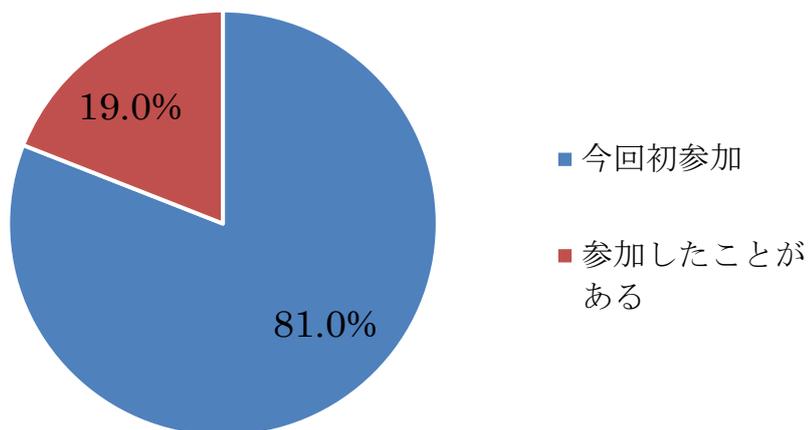
★本日の意見交換会を何でお知りになりましたか



※複数回答あり

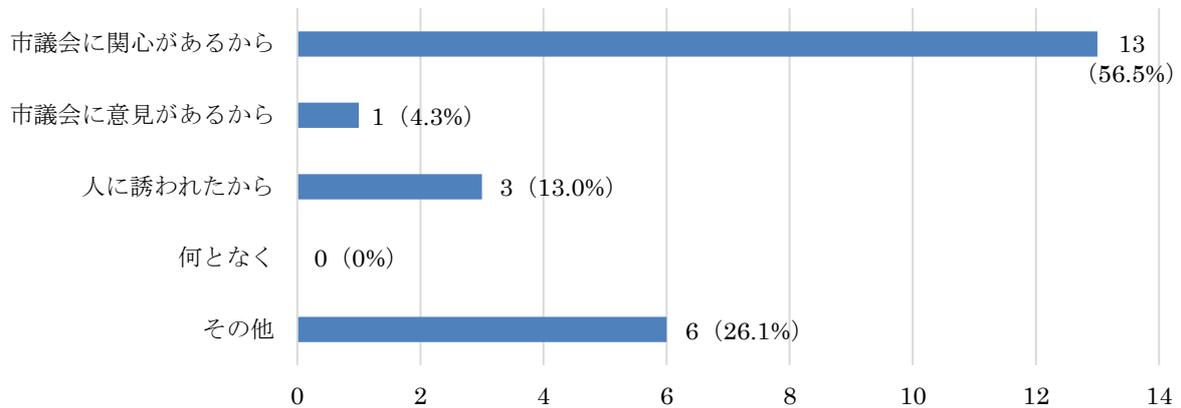
- 「チラシ・ポスター」および「知り合いから聞いて」と回答した方が最も多く、次いで「議員から聞いて」という結果となりました。
- 「その他」として、「11月2日に開催された『都市計画マスタープラン（素案）に関する市民説明会』の最後に案内があって知った」という回答もありました。

★議会報告会・意見交換会への参加について



- 8割強の方が「今回初参加」という回答でした。

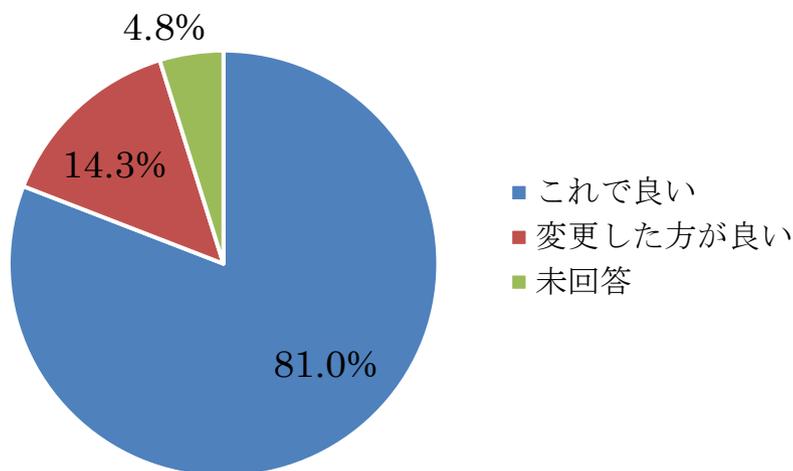
★今回、参加された理由は何ですか



※複数回答あり

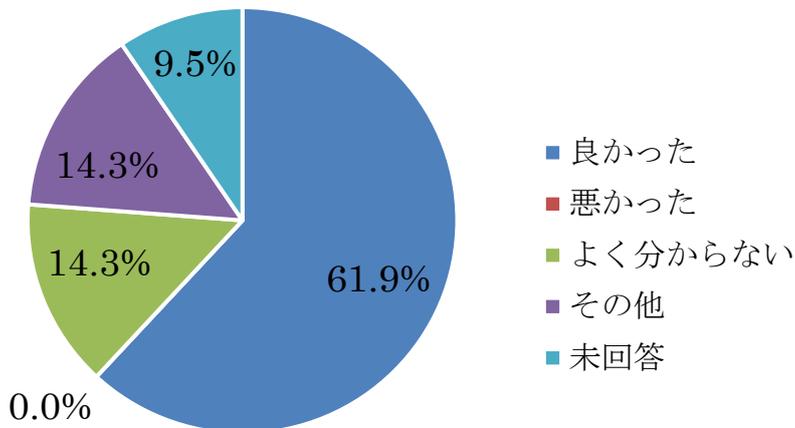
- 「市議会に関心があるから」と回答した方が最も多い結果となりました。
- 「その他」として、「今回のテーマ（子育て支援）に関心があったから」「議会としての企画なので興味があった」「2022年に移住して、市を知ろうと思って」といった回答がありました。

★日時・会場について



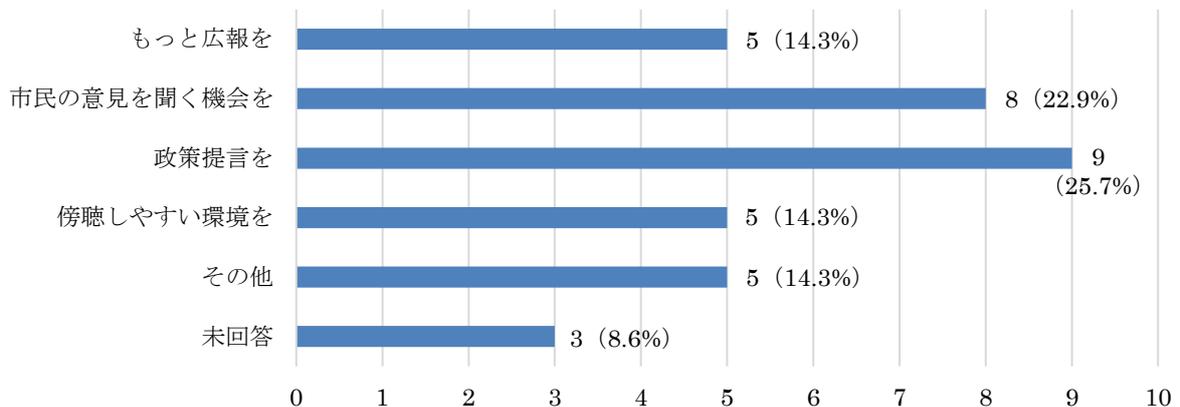
- 8割強の方が「これで良い」と回答しました。
- 「変更した方が良い」と答えた方からは「(会場は) さんさん館で」「日曜日に」などの意見が寄せられました。

★今回の報告会のテーマについて



- 「子育て支援と人口減少問題」という今回のテーマについては、「良かった」と回答した方が最も多く6割強という結果でした。
- 「その他」として、「今回はテーマに集中し過ぎ」「今後も継続して取り組んで欲しい」「大きなテーマで、個々の問題より基本的環境づくりが必要？」などの意見が寄せられました。

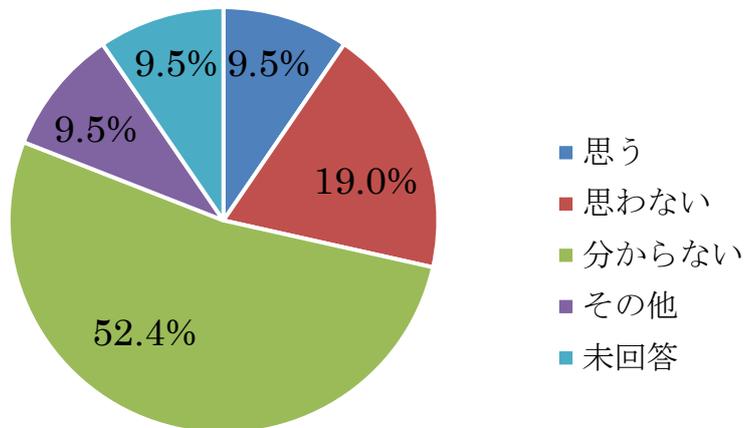
★市議会に望むことは何ですか



※複数回答あり

- 未回答の方を除けば「政策提言をしてほしい」という回答が最も多く、次いで「市民の意見を聞く機会をつくってほしい」という順になりました。
- 「その他」として、「市の施策や議会独自の取組を積極的に発信してほしい」「政策を実行してほしい（期限を守ってほしい）」「龍ヶ崎市の問題点とその解決、ステップ、スケジュールetc.」といった意見が寄せられました。

### ★市議会が市民の声を反映していると思いますか



- 「分らない」という回答が最も多く5割強であり、「思う」「思わない」という回答もそれぞれ2割強を占めるなど、全体的にばらつきのある結果になりました。
- 「その他」として、「問題点を市と議会が共有し、解決して、そのステップ・スケジュールを市民に公示してほしい」という意見が寄せられました。

### ★その他お気づきの点があれば、ご自由にお書きください

～以下のご意見をいただきました～ ※内容は基本的に原文を尊重しています。

- 私の地元は県内の別の市町村で、龍ヶ崎市へはたまたま嫁に来て出産・子育てをしている。住んでみると、大きな病院（済生会）もあり、スーパーや薬局、ファミリーレストラン、西松屋（子育てファミリーには大助かり）が市内に充実しているのは大変ありがたく、意外と住みよい場所としてのポテンシャルを持っているまちだと感じている。もう一押し、子育て支援で大きくPRできる改革的、もしくは個性的な支援を実施し、「子育てするなら龍ヶ崎市」と認知されるようになれば、子育て世代が集まってくれるようになるのでは、と思う。
- ママ友・パパ友を作れる場、機会がもっとほしい。3～4カ月健診・離乳食教室などで連絡先を交換したり、子ども同士・大人同士で交流し合ったりする時間を設けてもいいと思った。
- 無料もしくは格安の習い事教室（子ども向けでも、親向けでも）があると、時間も人材も有効に使えるとコミュニティの活性化につながると思う。既にある物も、もっとPR・周知させる工夫をすると良いと思う。
- 人口減少は第一課題だと思う。要因は明らかに若者離れ。若者が定住できるようになるための施策をどんどん実行してほしい。

- そもそも市内在住の若者の所得が低いのではないか(→収入が増えるためのサポートや連携を充実してほしい)。
- 親同士のコミュニティが少なすぎる。もっとイベントを充実させるなどしてほしい。
- 市長は、公約を子育てをメインにしているが、実行したものは何?と思う。
- 近年、印西市のデータセンター・物流センターの建設は凄いなと思う、単純に収入が入りそうである。第二工業団地を再案し、印西の2施設を建設した方が市政収入にできると思う。
- 交通網、6号線と市県道とを最短接続するなど、迂回対策にして防災対策を考慮できると思う。
- 各分野ごとの機能の専門家活用、地元民の専門家でなく市外民を活用する市執行部はだめ。
- 働く場所が少ない。企業誘致はどうなっているか。
- 流通経済大学との連携はどうか。
- 子育て世代の意見が聞けて良かった。市議会としての取組を期待する。
- 本日の意見を踏まえ積極的に取組を。
- 今、龍ヶ崎市にとって①は工業団地。増設により雇用人員を増やすこと(中断している増設計画について推進すること)。
- 龍ヶ崎市駅名変更等、市民の声を聞かず、市長・一部の議員で推進。人の話を聞かない典型的な行動。これからは市民の意見をよく聞き判断して。
- 現議会活動状況を見ていると、非常に積極的な議会改革活動で強い関心を持っている。一生懸命になると、それが市民に伝わるもの。今までにない積極姿勢が窺える。頑張っていたきたい。
- 働き場所を増やす(収入を増やす)
  - ・工場誘致
  - ・道路整備、拡張(つくば市連結道拡充)
- 土地の有効活用
  - ・市条例設定などで規制緩和
  - ・田畑の休耕地の太陽光発電設置の容易化(農業委員会の認可緩和)
    - 特に要望(現在、問題化)
  - ・田畑の集約化による農業従事者の増加

問題視されている方が多く、「5年以内に対策する」と回答あり



上記提案について回答をお願いしたい。

- 今回の子育て支援と人口減少問題は何十年前からの課題。今更とは思いますが、全市民（市含む）が本気になり、若い人たちが住み良い市になっていただく為に、良い考え等があるよう、市議会議員にお願いしたい。選挙時に掲げた言葉や行動に期待する。
- 頑張ってもらいたい。
- 子育て支援の充実で人口は増えない。人口問題は生活基盤等の大きなテーマと思う。リンクして進めるより、分けて推進した方が取組を進めやすいと思う。
- DMV（デュアル・モード・ビークル）、鉄道と都市交通を見直す。つまり、交流人口を増やす。雇用の促進。客を倍にすればいい。
- 子育て支援について、教育支援（中学以上支援）を充実させる。イベントで算数を教えているが、学力が小1程度しかない。塾を開校すべき。
- 客が来ないから人口が減る。客がいなければ企業も来ない。
- 人口減少問題の回答の中で、「市の人口の三千何某かは外国人」だと。外国人も市民だと思うが？

#### 4 ご意見等の取扱いと開催結果の報告について

- (1) 当日いただいた貴重なご意見等については全議員で共有し、各議員がそれぞれの判断の下で議員活動に活用するように努めます。
- (2) 議会に関していただいたご意見等は、今後の議会運営の参考とさせていただきます。
- (3) 情報共有の観点から、「開催結果」および「当日資料」については市長に報告するとともに、市議会ホームページに掲載します。